



なきごえ



1996

7



大阪市
天王寺動物園協会



New Face

(撮影：高橋 雅之)

- 2 — New Face ニートリアのお嫁さん(高橋 雅之)
- 3 — 動物と私 (あずま しょうじ)
カバーウォッチングモモイロペリカン(森本 委利)
- 4 — ゴローのその後(宗近 功)
- 6 — 動物飼育実習体験記(仲尾 有加)
- 8 — グラフZOO 春の動物と花のフェスティバル(落合正彦、中上正幸)
- 10 — ケンちゃんの好きやねん動物園(松葉 健)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

モモイロペリカン
ペリカン目 ペリカン科

Pelecanus onocrotalus
生息域はヨーロッパ南東から
インド北西、インドシナ半島南
部、アフリカ等の沿岸や湖沼地
帯で、雄で体重は10^{kg}、翼開長
3.6^mに達し、魚を小群で追い
立て、水10^{cm}も入るのど袋を漁
網のように使いすくい取りしま
す。(撮影：森本 委利)

||||| 動物と私 |||||



あずま しょうじ さん
(ノアハートクラブ代表取締役)

私は、ノアハートクラブという動物をモチーフにした雑貨(銀製アクセサリ・Tシャツ・小物など)の店を、大阪梅田エース一番街と、3月25日に大阪難波の湊町でオープンした大阪シティーエアターミナルビル(通称OCAT)で経営しています。

人類による地球環境の悪化にともない多くの生物が絶滅の危機に追いやられていると聞きます。私たちに何か出来ることはないのか、人間として地球上で生かさせていただいている動物の一員として何か少しでも出来ることをさせていただこうと考えておりましたところ、ある人の紹介で社団法人日本動物園水族館協会のことを知り、同協会が提唱しておられる「種」の保存運動に微力だとは思いますが、売上の一部を寄付させていただいている者でもあります。

ノアハートクラブはペットショップとよく勘違いされるのですが、決して生きていない動物を販売しているのではなく、私が世界を歩いて探してくる商品を扱っています。この商品を通して、お客様が楽しみながら地球や動物たちのことを考える機会が少しでも増えれば、私が行っている小さな保護運動はささやかながらも成功しつつ

← ニートリアのお嫁さん ネズミ目 カプロミスコ

ニートリアのメスが池田動物園から、お嫁にきました。お見合いも無事終わり、同居がはじまりました。一風呂浴びて毛づくろい。可愛い赤ちゃんの誕生が楽しみです。



あると思います。実をいいますと、このような仕事をまさか私自身が始めるとは夢にも思っていませんでした。しかし、いろいろな国へ行き、さまざまな人々と話をする機会を得るたびに、少しずつ、私が今行っていることは重要であると感じるとともに、私の店に来店していただくお客様に私が感じたことを少しでも伝えていきたいと思うようになりました。

話はかわるのですが、私はスキューバダイビングを趣味にしています。昨年の9月にパラオ諸島へ行ったとき、その海的美しさと、私をナビゲートしてくださった地元のガイドの皆さんが本当に海を大切にしておられるのに感激しました。パラオの海に潜るとさまざまな色や形の魚が私たちの想像を絶する数で見る数に感服しました。パラオの有名なダイビングポイントのブルーコーナーというところへ行く途中、私は生まれて初めて野生のイルカに会うことが出来ました。イルカたちは私たちの乗っていたボートが作りだす波をうまく使ってボディサーフィンをしたり、何度もジャンプして私たちに大いに楽しませてくれました。

このイルカたちが遊んでいた海の下には、リープ(珊瑚でできた緩やかな崖)が広がり、そこには何千匹かと思われるカスミチョウチョウウオが紙吹雪をまき散らしたように波間にゆらゆらと揺れている姿はまるで別世界の美しさでした。ほんとうに素晴らしいこの自然を大切に、私たちの子孫に譲り渡していくには、私たち一人一人が気を付け、心して守っていかなければならないと思います。

動物と私というこのエッセイには、多少道がはずれているかとは思いますが、人間を含めたさまざまな生き物たちの生命は、人間が思いやることによって大変助かるのではないかと思います。

(あずま しょうじ)

わが国には現在オス21頭、メス19頭のゴリラが飼育されているに過ぎず、このままでいきますと日本の動物園からゴリラがいなくなってしまう。日本動物園水族館協会の種保存委員会ゴリラ繁殖検討委員会ではなんとか繁殖させるためすべてのゴリラに繁殖の機会を与えようと考え、一頭で飼育されている天王寺動物園の『ゴロー』を千葉へ移動させる提案が持ち上がったわけです。千葉市動物公園のゴリラ達はオス(モンタ)10才とメス(モモコ)12才で、すでに繁殖年齢に達していますが、いまだ繁殖の兆しがありません。これは小さい時から一緒に育ってきたため、兄弟の様な関係になってしまったのでしょう。これを解消させるために組み合わせを変えるより方法がありません。そこで若いオスに刺激を与えることと、メスに繁殖の機会を与えるために千葉市としては日本動物園水族館協会種保存委員会の提案を受けることにしたのです。



千葉市動物公園へ移動したゴロー

§ ゴローの受入れ準備

ゴリラはご存じのとおりオスは200kgを越し、大変力の強い動物であるため移動が難しいものの一つです。また、希少動物であるため、国内でも移動の際は環境庁の許可が必要となります。そのため、まず千葉と天王寺の両園でブリーディングローンの条件、移動時期について検討し、何回かのファックスのやり取りの結果、契約条件も決まり、移動の時期も暖かくなる昨年の5月16日の早朝伊丹空港を出発し成田空港へ到着することに決定しました。契約が終了しましたので環境庁に移動許可を申請し、許可証を5月8日に受けとり、すべての手続きが終わりました。

その間も移動の準備は進められ、まず輸送のための檻を上野動物園か

ら借り、4月26日千葉市動物公園へ運び、これに合わせて入り口など施設の改造を行いました。千葉市動物公園での受入れのための準備が終わりましたので5月8日大阪に向けこの輸送檻を送り出しました。5月9日には両園でのプレス発表用の原稿の打ち合わせもすみ両市で同時に報道機関に発表いたしました。

14日、受けとりのため飼育担当者、獣医、飼育課長の3名が千葉市動物公園から天王寺動植物公園へ出張し、檻への収容の立ち会いを致しました。

天王寺動植物公園では午後3時ごろ積み込みも終り、報道関係に公開され、4時ごろ大阪での最後の夜を過ごす吹田の倉庫へ出発しました。

翌朝、伊丹発8時30分のJALで天王寺動植物公園のゴリラ担当者と千葉でのゴローの担当者と獣医が同乗して出発、9時40分成田に無事到着しました。すぐにエアコン付きのコンテナ車へ積み替えられ、千葉市動物公園に向かい、正午前には動物公園へ到着しました。その間暴れる様子もなくおとなしかったとのことでした。動物公園ではすでに大型クレーン車が待機しており、いつでも作業ができるようにセッティングは完了していました。

時間まで事務所前で待機し、午後1時から作業を開始し、まず、檻をコンテナ車から引き出し、ワイヤーをセットしなおしました。いよいよ吊り上げです。多摩動物公園ではオランウータンを移動のため吊り上げたところ檻を揺すり始め、危険になったのでいったん下ろし、揺らさないようにロープを張って収容した経緯がありました。約500kgのゴリラと檻を吊り上げましたが、暴れる様子もなく放飼場のドライモートを越えてシュートの口に取り付けてある金具と無事接合させました。暴れて壊されてはいけなからです。

準備が完了し、いよいよ檻の扉が開けられます。扉もかなりの重量があるためクレーンで吊り上げました。警戒してなかなか出ないかと思いましたが、アッと言う間もなくシュートに入り、そのまま予定の部屋までいってしまいました。思わずもう一度檻のなかを確認したほどでした。

さすがに貫禄か天王寺の飼育担当の岡田さんに側についてもらっていたからか食欲は落ちず、与えられた餌は残らず平らげてしまいました。

しばらくは検疫のため室内に閉じ込めたままでしたが事前に結核の検査のため胸部レントゲン検査を終了しており、その他の検疫事項も動物園で管理されていたため、何の問題もなく終りました。その後もゴローは変わりなく、担当者に対し素直で、餌もよく食べてくれました。

§ はじめての土の感触

約1ヵ月おくれの5月28日に開園10周年記念式典が園内で行われ、これを機に一般公開しました。市長がシャッターのスイッチをいれるとみんなの見守る中、少しずつガラス越しのゴローの巨体が

現れてきました。

健康上よくありませんので、6月26日から隣のオランウータンの放飼場に週一回交代で展示することにしました。

はじめて歩く芝生の感触はゴローにとっては不思議なようで、一步一步踏み締めるように歩いていました。また、鏡が取り付けられてありますが、初めてはびっくりしたようで、おもわず鏡の中のゴリラを殴ったりしていました。しばらく警戒していましたが、中に写っているのが敵ではない事が解ってからは時々ぞき込んで鏡のなかのゴリラと仲良くしていたようです。



鏡と語るゴロー

§ モモコの変調

ところがメスのモモコは、未だ嗅いだことのない変わった匂いが充満した室内がいやなのか、ゴローが来園した次の朝、前夜与えた餌は全然食べず、夕方はなかなか部屋に入ってくれませんでした。神経質なゴリラのことですからこんなこともあることは予想していましたが、一ヵ月してもなかなか入ってはくれませんでした。夏になるとかなり落ち着いてきましたが、次に起こったのは性周期が狂ってしまったことです。いまままで正確に次の予定日が予測出来たのですが、やはり精神的なものがかなり影響してしまったのでしょうか。しかし、秋にはもとどおりに戻りました。モモコの体調も戻ってきたのでそろそろ見合いをしなければなりません。



隣が気になる

§ ゴローのお見合い

モモコはその間ゴローには関心があるようで放飼場に出る前にシュート伝いにゴローの部屋の近

くまで行き覗き込んで扉を叩いて出て行きます。室内で同居させる意見もありましたが、広い方が安全だろうと外で見合いをすることにしました。時期については、暖かくなった5月27日の月曜日としました。これに向けて監視テレビなど準備を始めたが予定日までにすべての準備が完了せず、6月17日に延期することにしました。

6月17日の朝、消防用のホース、麻酔銃などを準備しお見合いを実施しました。



放飼場でのお見合い中のゴローとモモコ

まずモモコを放飼場に出しておき、次にゴローを出しました。第一日目はゴローにとっては初めての場所なのでモモコよりも放飼場の探検に忙しいようで、モモコのドラミングの挑発も眼中にないようでした。二日目、モモコは相変わらずゴローに対してドラミングをしたり、乾草を集めてその中に寝転がっているゴローに近づいてちょっかいを出したりしていました。ゴローは乾草が気に入ったようで、掻き集めてはほぐし、その上に「ゴロツ」と寝ているのが好きようでした。三日目も前日同様モモコはゴローに対し挑発的でしたが、ゴローは相変わらず乾草をほぐしては集めて遊んでいました。しばらくするとなんとなくモモコを追い始めました。しかし、モモコの方がすばしこくて追い詰める事ができません。業を煮やしたゴローは突然いまままで降りた事のない岩の上から下にいるモモコに向かってとびかかったのです。とびおいた瞬間両者とも一瞬動けませんでした。すぐにゴローはモモコをつかまえ右肩に噛み付いたようで、揉み合いはほんの数分でしたがゴローはその後噛み付く様子は見られませんでした。すきを見てモモコはゴローの腕の中から抜け出し、素早く上に登っていきました。ゴローはこれを追おうとしましたが追い切れずあきらめ、また乾草を集めて寝転がってしまいました。くたびれたのでしよう、腹が波打っていました。モモコはその後ゴローが怖いのかドライモートの壁ぞいをいったり来たりしていました。この日はどうとう部屋に入らず放飼場で一夜を過ごしてしまいました。

しばらくモモコのごきげんが直るのに時間がかかるかと思いますが、大阪をはじめ全国のみなさんにも朗報をお伝えできる事を期待しています。

(むねちか いさお)

動物飼育実習体験記

昨年は全国的に厳しい冬でした。北海道なんてすごかったです。方言の「なまらしばれるべや」＝「めちゃくちゃ寒いやん」がびったりの毎日でした。学生としてたった2回目の北海道の冬で、過去数年にない大雪を経験できたのは幸運なのでしょうか？ とにかくそんな冬、天王寺動物園で念願の飼育実習が出来ることになり慣れ親しんだ大阪へ帰って来たのです。

小さい頃はよく遊びに、中高生の時は何かと見たくて知りたくて訪れたこの動物園。サマースクールや裏側ウォッチングに参加したこともあり。今までは入園者の一人として接していた動物園で勉強させていただくこととなり、正直嬉しさや期待、緊張、不安でかなり前からドキドキしていました。前日の晩はなかなか寝つけず、翌朝少しねむたい目で事務所へ着き実習が始まりました。その時はこれほど沢山の貴重な体験が出来るなんて思いもしませんでした。実習は実感の積み重ねで嬉しいパニック。無事に終わることが出来た今、書きたいことは山ほどあります。ここでほんの一部分ですがお話ししたいと思います。

飼育係は7つの班に分れていて、1班から順に2～3日ずつ18日間実習させていただきました。だからほとんどの動物の飼育に関わることが出来ました。ひとつの班は5人で、何種類かの動物が割り当ててあり、一人ひとりに担当動物があります。担当者が休みのときは、班のメンバーが仕事をカバーしていました。

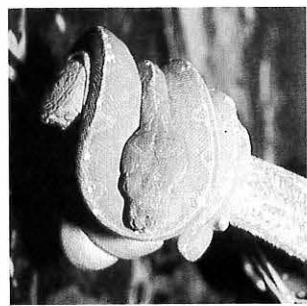
最初は爬虫類生態館「アイファー」担当の班でした。出だしからヘビやカエル！？どちらかというところ…いえ、この際ホンネでいきましょう。実は私、ヘビとカエルは大の苦手でした（過去形がポイント）。でも苦手なことがバレたら、沢山教えてもらえるチャンスを逃がすと思ひ、平然さを装っていました。食わず嫌いといいますが、知らないくせにきめつけてしまう時がありませんか？ はたして、「これは経験しなかったら損だ」と思った出来事がありました。



トマトガエルという名のとおり真っ赤なカエルに餌を与えた時のことでした。生きたコオロギにカルシウムをかけ、ピンセットでつまみ、彼（彼女かも）の目の前をちらつかせるのです。気付い

た彼はバクリ。すると担当の飼育係さんが教えてくれました。「満腹になると頭突きするで」。さて5匹目のコオロギのとき、彼は一発ガツツとやりました。なんとユニークな表現力。カエルをひたすら気持ち悪い動物とと思っていましたが、なかなか愛嬌があるもんだなと感じました。

ミドリニシキヘビの給餌では、生きたマウスが好きとか、冷凍マウスでもOKなど個体によって好みがありました。水の入った容器を見つけるとその中に入るとぐるを巻くブルー好き、とりあえず木の上でじっとしている冷静派などいろいろな性格があるように見えました。一概に「○○○という動物はこうだ」と見てしまいがちでしたが、意外な一面もあるし、個性だってあることを実感しました。



多くの飼育係の方が、観察は大切と教えてくれました。観察するとその動物が少しずつ理解でき、個性も見えてきます。より良く飼育するには個性を知ることが大切かもしれません。いつの間にか苦手意識が消えているのに気づき少し嬉しくなりました。

爬虫類生態館「アイファー」には、生き餌（虫や魚、マウス、鶏）を食べる動物が多く、その世話も仕事の一つでした。それに室温や水温、湿度、光に敏感なものもいて、一日に何度もこれらをチェックしたりと想像していたよりも細かい管理の必要なセクションでした。私にとってインパクトが強く、また飼育でも意外なことの多かった爬虫類や両生類を最初に実習したからか、後の実習では動物ごとに「何が大切でどんなタイプの飼育なのか」と考えていくことが出来ました。

ライオンやトラなどの間接飼育とは違い、直接飼育では隔たりのない一つの空間に動物と一緒に居ます。多くの草食獣や鳥類がそうです。ツル舎でカナダヅルの足場を良くするため、土を入れてならしていました。“つるはし”というだけあって嘴は鋭く、つつかれると痛そうだなあと見ていました。カナダヅルが大体どこにいるか把握しながら作業しているつもりだったのですが、土ならしに夢中になり、「そういえばどこに

いるかな？」と急に振り向いてしまいました。するとたまたま真後ろにいた彼女はさっと身構え、嘴をこちらに向けたのです。

近づき過ぎたり、驚かせたり、一角に追い詰めたりすると動物は本能的に危険を感じ、攻撃したり暴れたりするようです。これは飼育係員も危ないし、群でいる動物では怪我をする個体が出たり、大型動物だと狭い舎内で傷つくこともあるでしょう。ゾウやキリンだとあまりにも視線が高すぎて、お互いの存在が見えないことがあります。このためたえず声をかけたりして、飼育係の方は自分の存在を伝えていました。



動物園の動物が人間を傷つけると、その動物に対する見方はどうなるのでしょうか。少なくともブラスイメージではなさそうです。入園者の安全を確保することはもちろんですが、飼育係員自身の安全も常に心がけているのがよく分かりました。さすがは“キーパー”。守ることは動物だけではなく沢山あります。事務所にあった標語、「もう一度、慣れた仕事も基本から」が印象的でした。

動物園には人気者がいます。ある研究家は好かれる動物の特徴に「丸々とした外見」、「人に無害」、「動作が緩慢」を挙げていました。コアラなんてピッタリと思っていたのですが、彼らの素顔を少し見ることが出来ました。このコアラ、種類が沢山あるユーカリの中からより好んで少ししか食べないのには驚き。しかも「○○産の××という種類の新芽で新鮮な葉」とここまで選ぶとは…。次の日になると好みが変わり食べなくなったりすると聞き、そんなコアラの要求に毎日答えるとする担当の方には頭が下がりました。皮下脂肪をほとんど持たないコアラにとって、餌の食い込みが直接健康に影響するようです。時々グルーミングもするらしく、私もブラシでやってみたのですが下手だったので、「やめて」と手で払われてしまいました。そのとき見せた爪の鋭さ。愛らしい顔からは想像も出来ません。グッシューで走ることもあります。餌の時間、ユーカリを持った担当者めがけて走って行き、そのまま腰までよじ登る姿は素早くて意外でした。

コアラの観覧通路で入園者の会話をちょっと立聞きしてみました。「動かへんな」とか、「あんな風にずっと寝ていたいわ」とか。でも「かわいい！」の声が圧倒的でした。

突然ですが、“GIVE & TAKE”という言葉があります。もしかすると動物園でも動物と入園

者の間でこれが可能ではないでしょうか。動物からもらうのが楽しさや安らぎだけではちょっと寂しいのでは…。でもそこから関心を持つなら、十分なきっかけかもしれません。問題は次、何をあげればいいのかでしょう。それを勘違いして餌をあげる人もいますが、動物が欲しがっているのはもっと別にあるはず。自然界を離れ、私たちにその姿を見せてくれる彼らのメッセージは何かと考えていくことってこれからは大切な気がするのです。

小さな頃から、祖父は私をよく天王寺動物園に連れて来てくれました。その頃からとにかく動物園が好きです。様々な動物たちが「生きている」ことを目や耳、鼻から、時には肌で感じられるあのドキドキする感覚がたまりません。夏は園内の蚊にやられ、かゆくて大変でしたが、私にはその蚊までが一つの動物として普段とは違って見えたものです。

動物園では、動物を見るのと同じ位、飼育係の人を見かけるとワクワクしました。「どんなふう世話してんのやろう、餌は何やろか、寝る場所はどんなのかな…、きつとうちらの知らんような動物のしぐさを見てはるんやろなあ…、面白そうやなあ」。動物園で飼育係をしたい。思いは強くなりました。動物園への興味から自然環境へ目を向けるようになり、保護への関心へ広がりました。

マスメディアを通じて多くの環境問題に関する情報が入ってきます。でも五感を通して「生」を感じる動物園の動物、そして彼らを世話する飼育係の皆さんが、私に命の尊さや自然の大切さを教えてくれたわけです。

飼育係になって、入園者に動物や自然について考えるきっかけを少しでも提供できればと思います。経験も知識もまだまだ雀の涙ほどしかありません。飼育にとどまらず幅広くアンテナを張って、もっと頑張りたいと考えています。

最後になりましたが、実習中、何を質問してもどんどん答えてくれ、それ以上のことも教えて下さった飼育係の皆さん、事務所の皆さん、毎朝笑顔で迎えてくれたガードマンの方に感謝します。充実した18日間、本当にありがとうございました。

(仲尾有加：酪農学園大学3年生)

春の動物と花のフェスティバル'96

4月21日から5月6日までの日曜日・祝日・休日に動物園の野外ステージや公園などで多彩な催しが繰り広げられました。期間中、入園者の皆さんにいろいろ楽しんで頂きました。

(管理課：落合正彦、中上正幸)

ブロックゲーム



動物君さんにはちほ!

飼育係の皆さんが、担当動物の餌や糞などを見せて、その動物を子供たちにあててもらいました。

ヘビの話し



これは誰の糞？ 実はアジアゾウの糞

ボランティアクイズゲーム

野外ステージでは大阪動物園ボランティアの皆さんによるクイズゲームが催されました。子供たちが赤組、白組に分かれて、動物の「ブロックゲーム」や、動物の住みかを当てる「すみかクイズ」を催しました。



すみかクイズ

動物相談

期間中、入園者の皆さんから、いろいろな動物の飼い方や治療のしかたの相談を受けました。



ぬいぐるみショーと紙芝居など

公園イベント



ジャズバンドの演奏

公園内水上ステージではジャズやソウルの演奏、マジックショーなどを催しました。



紙芝居

野外ステージでは、歌うお姉さんとぬいぐるみショーや、紙芝居等が催されました。ステージは毎回満員で、特に子供さんにとっても人気がありました。

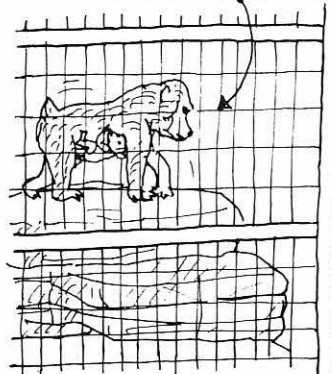


ぬいぐるみショー

① 5月のある日、サルヒビ舎へドリルの赤ちゃんを見にいきました。東の方に美術館がありその下にサル舎が14室並んでいます。13種のサルが展示されていました。



② ドリルの赤ちゃんは今年の4月9日に生まれて、いま母さんに抱かれて育っています。



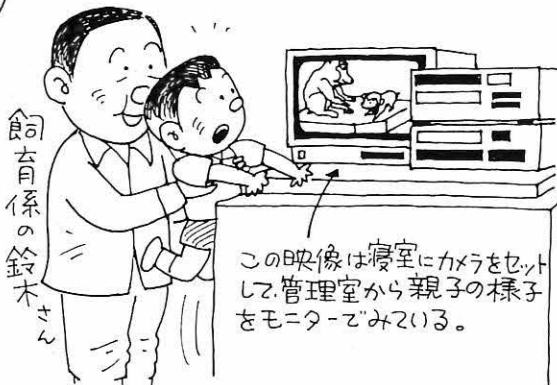
(1)の赤ちゃんは3頭目の子で1頭目は生れてすぐ亡くなり、2頭目の(ドリル)は母親から乳をもらえないので、飼育係の人が人工哺育をしていました。

③ 2頭目のドリルが居る管理室

このドリルは去年7月29日に生まれ、ここから、ここへ哺育しているんだよ。ドリルというサルは世界的にも希少な種で、国内ではこの動物園と日本モンキーセンターの2か所だけで10頭しかいないんだ。



④ そんなだいたいなドリルを育てるために3頭目のときは、女の子として生まれるまで寝室の窓ガラスにベニヤ板を張るなどして、母さんの気持ちを大切にしよう。



飼育係の鈴木さん

この映像は寝室にカメラをセットして、管理室から親子の様子をモニターでみている。

⑤ それにしてもドリルのお父さんは大きくて強そうなお父さん!



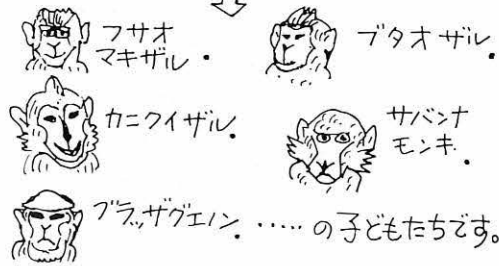
ドリルはアフリカ中部の熱帯雨林に生息している

⑥ 午後3時30分に1日1回の食事。裏の寝室(屋内観覧室)で食べる



サルの種類によって量や中身が少し違っているけれどバナナ、パン、さつまいも、にんじん、りんご、白菜、ポレット、など。その他、バナナ、アヲシ、みかん、いちご、うずらのたまご……と準備されたエサはすごく栄養がありそうです。

⑦ ドリルのほかのサルにも赤ちゃんがいます。



5/2. ヨーロッパホンケワタガモが今季初めて産卵しました。

5/4. カニクイザルとニホンザルが各1頭生まれました。

5/6. コガモを1羽保護しました。

5月7日 静岡市立日本平動物園から来園したカワリクマタカの展示を始めました。この鳥はインドから東南アジアの森林に生息しています。



5/9. ドバトを1羽保護しました。また、5月5日保護したスズメが元気になったので自然復帰させました。

5月10日 4月30日に池田動物園から贈られてきたヌートリアの検疫が終わったので、展示を始めました。この動物は南アメリカの中・南部の沼地や川岸に生息するネズミの仲間です。



アカコンゴウインコが1羽ふ化しました。これは、昨年、一昨年に引続いてのことです。

オナガキジが1羽ふ化しました。

5/11. ドバトとアオバズクを各1羽保護しました。

5/13. 2羽目のアカコンゴウインコがふ化しました。

コゲラとスズメのヒナを各1羽保護しました。

5/15. ジュウイチ、フクロウを各1羽とムクドリを各1羽を保護しました。

5/16. カワラヒワとドバトを各1羽保護しました。

5月17日 レッサーパンダを今年初めて室内展示しました。レッサーパンダは、夏の日本に比べて涼しい中国南部の高地に生息しています。屋内展示室の室温は約20°Cに調整してあります。



今月もおもしろ情報満載

ZOO
DIARY



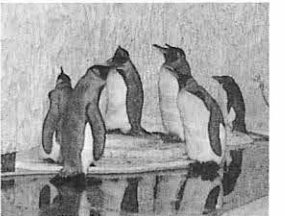
オオサマペンギンが今季初めて産卵しました。

5/18. ダチョウが今季初めて産卵しました。

5月20日 南極に近い寒冷地に生息するオオサマペンギンとイワトビペンギン、マカロニペンギンを屋内冷房展示室に移動させました。同時に健康状態をチェックしました。

キーウィが産卵し、抱卵を始めました。

5月に保護したカルガモが元気になったので、自然復帰させました。



バーバリシープのオスの爪が伸びたので、削蹄を行いました。

5/23. シロフクロウのオスがメスに、繁殖行動の1つであるネズミ(餌)をプレゼントしているのを確認しました。

5月24日 愛媛県立とべ動物園から入園したオオサイチョウのメスの展示を始めました。展示していたオスは見合いをさせるため、展示場内の隔離室に収容しています。



5/25. チュウシャクシギを1羽保護しました。

5/27. 今季5頭目のニホンザルが生まれました。ニジキジが1羽ふ化しました。

5/30. “鳥の楽園”でカルガモが自然ふ化しました。

■お知らせ■

●「ラクダのお話」
 日時：7月14日(日) 午後1時～
 場所：ラクダ舎前

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？ 動物園での世話の仕方は？ 仲間とは？ など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

＜くらしかいかたシリーズ＜既刊本＞
B5変型判・オールカラー

むし くらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれい色 FUJICOLOR SUPER ACE 400



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031



ニホンオオカミの生態と歴史の集大成

狼 — その生態と歴史 —

平岩米吉[著] A5判 308頁 定価2,678円(税込)

ニホンオオカミは今もどこかで生きのびているのか——。狼と生活をともにした実体験を基盤に、数十年にわたり収集した正確な資料と生態学の眼をもって、ニホンオオカミの特徴や大きさ、性質などを分析。今も根強く残っている残存説を検証するとともに、絶滅へといたる歴史をも詳述する「ニホンオオカミの正史」。

築地書館 〒104 東京都中央区築地2-10-12 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799 振替 00110-5-19057
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。(直接郵送時の送料は一律400円です。)

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本 入園の記念・手引に……



オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

あぁ、男のやすらぎ。ジョージア。

ひと息入れよ。

ジョージアで、

Enjoy **GEORGIA**

GEORGIA ORIGINAL GEORGIA

※この商品は、ボトリング株式会社 2004年10月15日現在、全日本畜産協会の登録商標です。●あまの産産化にご協力下さい。

鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市米住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!

園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....
中央売店
TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110

.....LOTTE.....

みんな大好き

エアロのメ

〈チョコレート〉

〈ストロベリー〉



雪印 つぶより フルーツ ヨーグルト



●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル——●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って——●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の——●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で——●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の——●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

一日
愉快地
たのしめる



なきごえ 1996年7月10日発行(毎月10日発行) 第32巻 第7号 (通巻371号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

樽本 勲 / 馬詰好文 / 増野悦敏 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 長谷川敏昭 / 落合正彦 / 宮下
 中上正幸 / 堀内智生 / 小林崇宏 / 竹田正人 / 高見一利 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川
 実 / 榎原安昭 / 森本委利 / 高橋雅之
 篤 / 土谷正道 / 村上勇一 / 仁田原洋